

○ P T (パーソントリップ) 調査概要



■PT (パーソントリップ) 調査とは

- ・都市における人の移動（行動）を把握する調査。
- ・ある目的を持った出発地から到着地までの移動を1トリップとし、利用した「交通手段」を調べる。

(具体的には)

- ・都市圏内に居住する人を対象に、ある1日（通常10～11月頃）の交通を調査。
- ・郵送やWebによるアンケート形式で行い、対象世帯のうち5歳以上の人全員が対象。

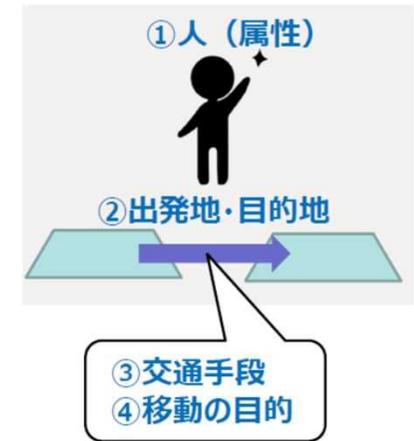
■PT調査から分かること

- ① 都市交通の実態（公共交通分担率、発生集中交通量・時間）
- ② 将来交通の予測

■PT調査の活用

- ① 都市交通マスタープラン（概ね20年後の都市交通のあり方）
 - ・都市・地域総合交通戦略
- ② 都市計画のマスタープラン
 - ・都市計画区域マスタープラン
 - ・市町村の都市計画マスタープラン
- ③ その他交通計画
 - ・地域公共交通計画

PT調査



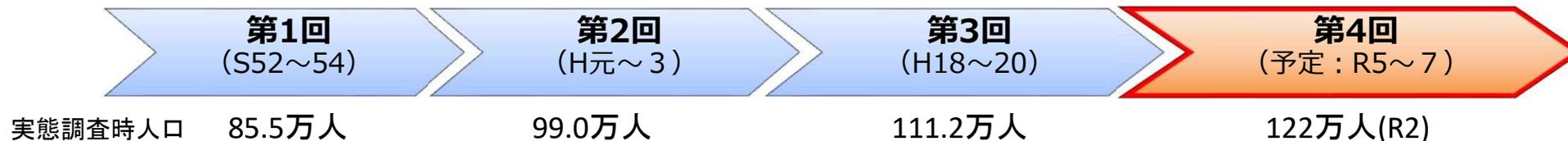
Who	どのような人が	若者？高齢者？一人暮らし？共働き？子育て世代？免許は持っている？自家用車は持っている？健康状態は？
Why	どのような目的で	仕事？学校？買い物？食事？子どもの送迎？通院？帰宅？
Where	どこから どこへ	地域間の移動量は？混雑する道路や鉄道路線は？人が集まる場所は？駐車場所、駐輪場所は？
When	どのような時間帯に	移動の時間帯のピークは？所要時間は？エリアの滞在時間は？
How	どのような交通手段で	鉄道？バス？自動車？自転車？歩いて？自分で運転？誰かに乗せてもらう？

県・市町村の都市計画や交通計画を始め、あらゆる計画の基礎となる重要な調査

○ P T (パーソントリップ) 調査概要

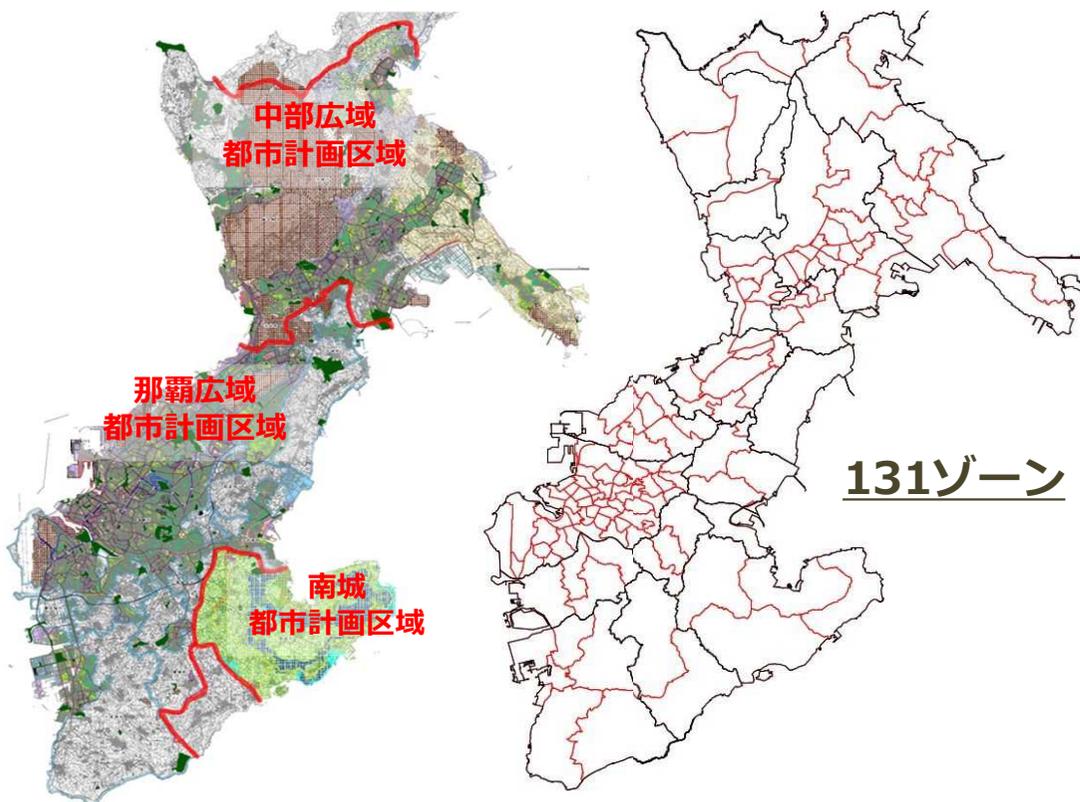


■ PT調査の経緯



■ PT調査の範囲

・PT調査の調査範囲は、都市計画区域を主体とした中南部都市圏（17市町村）。



■ PT調査規模

・本県の中南部圏域においては、17の市町村にまたがる調査となることから、下表「都市圏PT調査」の実施が必要。

表 2-1 都市圏PTと特定目的PT調査(ミニPT調査)の関係

	主体	対象エリア	実査時期	活用
都市圏PT調査	県、関係地方公共団体等関係機関からなる協議会	複数市町村にまたがる日常生活を営む圏域	概ね10年に1度	<ul style="list-style-type: none"> 長期の都市交通マスタープランを策定 軌道系公共交通の需要予測などの詳細な計画

出典：都市・地域総合交通戦略及び特定の交通課題に対応した都市交通計画検討のための実態調査・分析の手引き

・PT調査における標本率決定の式から算出した場合、対象人口（5歳以上）の約5%にあたる約5.7万のサンプルが必要。

	前回(第3回)調査	今回調査(基本案)
対象人口	104.5万人(H17国勢調査)	111.9万人(R2国勢調査)
生成原単位	2.53(第2回調査の値)	2.49(前回調査の値)
Cゾーン数	126	131
標本率	5.20%	5.14%
必要サンプル数	54,355	57,482